

東京都地方独立行政法人評価委員会
平成24年度第1回試験研究分科会 議事概要

- 1 日 時：平成24年7月2日(月)13時30分から17時00分まで
- 2 場 所：都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N1
- 3 出席者：板生分科会長、井上委員、鞠谷委員、北村委員、渡辺委員（五十音順）
- 4 議 題：
 - (1) 審議事項
平成23年度地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター業務実績報告について
 - (2) その他
- 5 議事概要：
 - (1) 平成23年度地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター業務実績報告につ
いて
産業技術研究センターから平成23年度業務実績報告書について説明（資料1）

【質疑応答・委員意見】 ※ ゴシックが委員の意見、⇒は産技研の説明

○技術相談の件数が急増しているが、質的には変化があるか。

⇒汎用的な装置だけでなく、先端的な装置を導入したこともあり、製品開発への装置活用法などに関する本質的な相談が増えている。

○非常に高度な機器を揃えた高度分析開発セクターについて、利用企業の規模や質などの点で今までと違いはあるか。

⇒他の機器に比べて、大企業の利用が多い。ただし、基本的には中小企業を優先しており、空きがある場合などである。

○高度先端機器におけるライセンス制度について、将来的な動向はどうか。

⇒この制度は、企業に講習を受講し、ライセンスを取得してもらうことで、破損のリスクがある高額な機器でも利用してもらうことができる制度だが、どんどん増やすつもりである。

○オーダーメイド開発支援について、中期目標（平成27年度年間120件）を大きく上回る実績を残しているが、原因や理由は何か。

⇒23年度にかなり注力した事業であり、その結果、目標を大きく上回った。企業の製品化を直接支援することが重要であり、もっと実績を伸ばしていきたい。

○国際規格の対応への支援について、中国の GB 規格への対応も含まれているのか。
⇒本年 10 月に予定している国際規格支援センター（仮称）の設立当初は中国の GB 規格への対応は予定していないが、今後順次対応していく計画である。

○広報活動を積極的に行っているが、外部のリソースの活用等を行っているのか。
⇒職員だけでは難しい面もあり、外部の広告代理店等を活用の上で行っている。

○リスクマネジメントやセキュリティについて、情報流出に関する管理など何か直接的な対策を行っているのか。
⇒部長やグループ長などの幹部職員が段階的に内容をチェックする体制を整備して、情報管理を行っている。

(3) その他

事務局から業務実績評価方法等（資料 2、3）及び今後の日程（資料 4）について説明

以上